

第6学年学年だよ

Excellent growth



ほぼ毎週発行!!



便利な予定付き

26号

緊急学年集会～中学校生活に向けて～

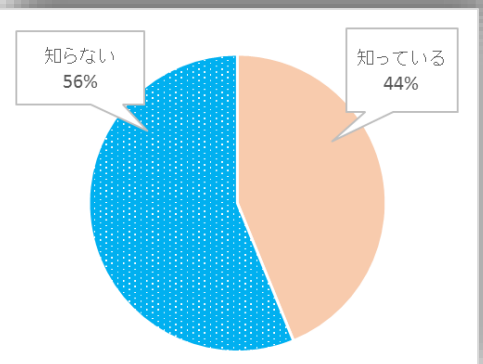
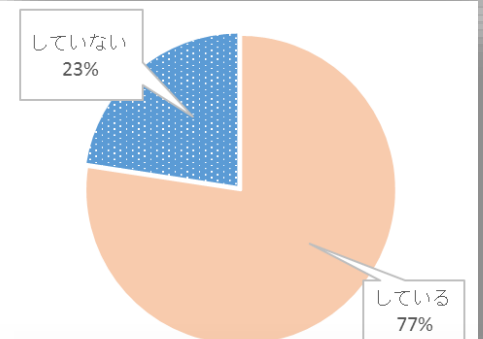
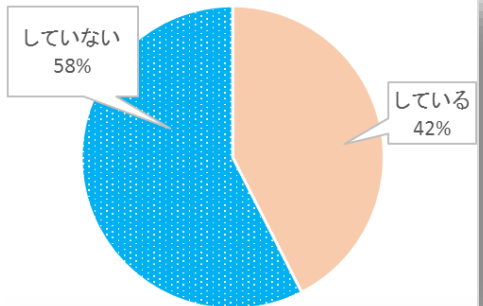
今週水曜日、いじめアンケートの結果を受けて、緊急学年集会を開きました。その内容をお伝えする前に、右のグラフをご覧ください。何のグラフだと思われますか？これは、「①あなたはLINEをしていますか？」という問いに対する、回答の割合です。6年生3学期時点で、およそ4割超の子供達がLINEをしていることが分かります。話を聞くと、親族同士でLINEをしたり、子供達の連絡手段としてLINEを活用したりしている姿が見えてきました。

さて右のグラフは何の割合だと思えますか？右のグラフは、問い①「あなたはLINEをしていますか？」の回答のうち、「している」と答えた子の中で「親に関わらず自分だけでLINEをしていますか」という問いに対する回答です。LINEをしている子の内、8割近い子供達が、親の目の届かないところでLINEをしていることが分かりました。もちろん、積極的に陰湿なことをする子供達ではないことは1年間のかかわりの中で分かっています。

しかし、今回のアンケートでは、「悪口を言われた」「チェーンメールを流された」などの実態も報告されています。また、右のグラフは「学年の中で、グループトーク（一定のメンバーのみでLINEをする機能）をしている人を知っていますか？」という問いに対する回答です。LINEをしている子が、4割いることから妥当な数値ですが、このグループトークという機能が、今、小学校高学年から高校にかけて大きな問題になっています。

実際に「悪口を言われた」という案件についても、よく話を聞いてみれば、そのコメントは相手を誹謗中傷するものではなく、反対に気遣う言葉だったのですが、小学校あるいは中学校の子供達に、自分のコメントが逆の意味で理解されるかもしれないという思慮はまだ難しいのが現実です。

相手を傷つけるという気が無くても、文章能力の稚拙さから誤解を与えたり、相手を傷つけ



てしまったりするというケースは、LINEが発端となって起こるトラブルの中では非常に大きな割合を占めます。そのことを述べたある作家の方の記事の一部を紹介します。

LINE トラブルがきっかけの事件多発の原因とは？

(前略)私が注目したいのが、LINE でのメッセージのやりとりそのものがきっかけで自殺をしたり、傷害事件を起こしたりという事件が増えていることです。私はインターネットが登場してすぐの頃、メールのやり取りがきっかけで友達と気まづくなった経験が二回あります。その時感じたことが、メールコミュニケーションの難しさと危険性でした。

フェイスツーフェイスのコミュニケーションであれば、人は五感をフルに使う相手の意思を汲み取れます。顔の表情であったり、身振り手振りや言い方、言い回しなどで意思が通達できます。電話は五感の中で聴覚だけを使うコミュニケーションツールですが、それでも相手の声の抑揚や話し方で伝わります。

ところが、メールコミュニケーションは文字面だけのコミュニケーションですので、誤解が生じやすいのです。確かに顔文字や絵文字、スタンプなどで感情の表現が可能になっていますが、それも限界があります。短文投稿がメインの LINE だと、短文なだけに余計にこちらが書いたニュアンスと違う感覚でとらえられるケースがあります。これには気をつけなければなりません。文字のみのコミュニケーションは、無味乾燥に伝わる場合があることを想定して、言葉足らずなところがないように、常に気をつけなければなりません。私は文章を書く人間ですが、記事を書いても言いたいことが 100%伝わったと自信を持って公開できる記事はほとんどありません。いつも、何らかの伝達障害を感じながら言葉を選んで書いています。その為、かなり筆は遅いほうです。

文字コミュニケーションの難しさが原因となり、LINE で相手から侮辱を受けたと感じ、自殺や傷害事件につながってしまうのは、本当に悲しい出来事といわざるを得ません。なぜなら、そのほとんどが「誤解」から生じていると思われる為です。 <http://majikomi.com/itnews/linetrouble/>



中学校になることを機会に、スマホを初めて手に入れる子供達が多いと予想されます。それは、LINEをするメンバーが増えることに必ずつながります。そして同時に人間関係がLINEを通じて、さらに複雑化することにつながります。今までは、少ないメンバーで何とか仲良くできていたとしても、初めてLINEをする多くのメンバーと付き合わざるを得ない状況が、すぐそこまで来ています。

その中で、まったく誤解を与えずやり取りをしたり、LINEが原因のトラブルを生じさせずにやりとりをすることができるだろうというのは、非常に楽観的であると考えます。

難しいとは思いますが、中学生でLINEを使うのであれば、その内容を把握できるという親の管理下の元での使用を強くお勧めします。親が親の権限でいつでも子供同士のやり取りを見ることが原則の中で、使用を認める。それが、お子様が被害者にも加害者にもならない最善の策であると考えます。ぜひ、スマホを使う際はお子様と十分に話し合いをしてください。

※その他にも、「LINELIVE」や「ミックスチャット」など、自分のプライベートをそのまま公開する動画サイトもあります。小中学生が自分の部屋から見知らぬ人たちと会話ができるアプリです。お子様が持つスマホに、どのようなアプリが入っているのか、どのようなものを閲覧しているのか、ぜひしっかりとご確認ください。

来週の予定

※この週から卒業式練習が始まります。

7日(火) 縦割り班遊び

9日(木) 委員会

